

内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会
令和6年度第3回（第53回）合同会議議事概要

開催日及び場所	令和7年1月23日（木）中央合同庁舎第8号館 特別中会議室
委員	委員長 今井 猛嘉 （法政大学大学院法務研究科教授） 委員 大森 明 （横浜国立大学経営学部長） 委員 市毛 由美子※ （弁護士） 委員 金井 睦美 （公認会計士） 委員 寺田 麻佑 （一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科教授） ※ 当番委員
議事	令和6年度第2四半期の契約に係る審議

○令和6年度第2四半期の契約に係る審議		
審議対象期間	令和6年7月1日～令和6年9月30日	
対象案件の説明	○対象期間における契約件数（内閣官房64件・内閣法制局1件・内閣府本府158件）について事務局から説明 ○審議案件抽出等の考え方について当番委員から説明 抽出にあたっての関心事項 ・落札率が高く、かつ1者応札となった案件について、その理由を確認する。 ・落札率が低くなった案件について、その理由及び履行状況を確認する。 ・予定価格の作成方法について確認する。	
審議抽出案件	3件	
【一般競争入札】 最低価格落札方式	(内閣官房) 1件 (関心事項) ・落札率が高く、一者応札になった理由 ・予定価格の作成方法	契約件名：次期0A-LANシステムに係る調達支援役務 契約相手：三井物産セキュアディレクション（株） 契約金額：42,680,000円 契約日：令和6年7月1日 担当部局：内閣衛星情報センター ----- 契約件名：画像分析官の教育訓練の委託 契約相手：（株）パスコ 契約金額：33,880,000円 契約日：令和6年9月11日 担当部局：内閣衛星情報センター
【一般競争入札】 最低価格落札方式	(内閣府) 1件 (関心事項) ・落札率が高く、一者応札になった理由 ・予定価格の作成方法	契約件名：令和6年度「東南アジア青年の船」事業実施に伴う旅客船の定期備船、運航委託業務 契約相手：商船三井クルーズ（株） 契約金額：400,906,855円 契約日：令和6年9月12日 担当部局：政策統括官（共生・共助担当） ----- 契約件名：令和6年度「世界青年の船」事業実施に伴う旅客船の定期備船、運航委託業務 契約相手：商船三井クルーズ（株） 契約金額：312,616,618円 契約日：令和6年9月12日 担当部局：政策統括官（共生・共助担当）
【一般競争入札】 総合評価落札方式	(内閣府) 1件 (関心事項) ・落札率が低くなっている理由及び履行状況 ・予定価格の作成方法	契約件名：つながりサポーターの養成に必要な手法等に関する調査等業務 契約相手：（株）Ridilover 契約金額：21,670,000円 契約日：令和6年8月2日 担当部局：孤独・孤立対策推進室
委員からの意見・質問 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

○その他	
-	

意見・質問	回答
1 ・次期OA-LANシステムに係る調達支援役務 ・画像分析官の教育訓練の委託	
一者応札となった理由について確認したい。	次期OA-LANシステムにおいては、仕様で求めたセキュリティ基準を満たすことが困難であったり、他の案件の対応のため技術者を確保することができず、応札できない者があったと聞いている。今回調達時から当該セキュリティ基準は同等の基準を持ち合わせていれば応札できるという形に要件緩和していたが、結果的に一者応札となったので、入札時の喚起や仕様書の表記方法について工夫の余地があった点は今後の反省材料としたい。画像分析官の教育訓練においては、元々狭い市場である中、過去に委託していた業者が事業を撤退して以降、今回落札した業者のみが応札する状況が続いている。
2 ・令和6年度「東南アジア青年の船」事業実施に伴う旅客船の定期備船、運航委託業務 ・令和6年度「世界青年の船」事業実施に伴う旅客船の定期備船、運航委託業務	
一者応札となった理由について確認したい。	仕様書で定めている条件を満たす事業者が限られており、中でも親和性の高い落札業者のみが応札したと分析している。
船の運航上の様々な制約があり、今後も人件費や燃料費の高騰等が想定されるという厳しい状況であっても、価格として無駄な部分はないかといった予定価格の妥当性は引き続き確認していただきたい。	他の船との比較などの調査は常時行っており、今後も、市場の価格から見るときに不必要な支出になっていないかという問題意識を持って確認を続けていきたい。
3 つながりサポーターの養成に必要な手法等に関する調査等業務	
落札率が低くなっている理由を確認したい。	低入札に係る確認をしたところ、過去の実績の知見を活用することにより、効率的に業務実施が可能であるため低価格の応札になったと聞いている。
予定価格の作成方法について確認したい。	予定価格は、市場価格等を参考に作成している。
技術点と価格点の配分を検討すべきではないか。	最低価格の者が落札することが原則の中、技術評価の部分も加えた例外が総合評価落札であるところ、今回は決められた制度の中で技術点の割合を最大限にしていたが、落札結果においては、価格点の部分の影響が大きかったと認識している。
<input type="radio"/> その他	
—	